

平成29年度
入学者選抜要項



目 次

I 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー) …………… 1	2 帰国生入試 (1) 出願要件 (2) 選抜日程 (3) 選抜方法 (4) 実技検査等の配点 (5) 合格者発表日
II 募集人員 …………… 5	3 私費外国人留学生入試 (1) 出願要件 (2) 選抜日程 (3) 選抜方法 (4) 実技検査等の配点 (5) 合格者発表日
III 一般入試 …………… 5 (1) 出願資格 (2) 選抜日程等 (3) 選抜方法・配点 (4) 合格者発表	V 障害等のある入学志願者の事前相談 ……16
IV 特別入試 ……………10 1 推薦入試 (1) 出願要件 (2) 選抜日程 (3) 選抜方法 (4) 実技検査等の配点 (5) 合格者発表日	資 料 平成29年度岡山県立大学入学者選抜 (一般入試)の実施教科・科目等 ……………17

平成29年度学生募集要項の発表

○発表時期

「平成29年度学生募集要項(特別入試)」……平成28年10月上旬

「平成29年度学生募集要項(一般入試)」……平成28年11月中旬

○主な請求方法

- 1 テレメール(インターネット、自動音声応答電話)により請求する場合(一般入試学生募集要項のみ)
下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスし、案内に従い操作してください。
 - ・インターネット <http://telemail.jp> (パソコン・スマートフォン・携帯電話)
 - ・自動音声応答電話 050-8601-0101 (IP電話)

本学の資料請求番号

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)	発送開始予定日
募集要項のみ	586152	215円	平成28年11月中旬
大学案内のみ	566152	300円	配布中
募集要項+大学案内	546252	350円	平成28年11月中旬

※ 請求から2～3日後に資料が届きます。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンター(050-8601-0102(受付時間 9:30～18:00))までお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は、発送開始日に一斉に発送されます。

- 2 本学に直接請求する場合(特別入試学生募集要項、一般入試学生募集要項)※大学案内も同封します。
請求する封筒に必ず「岡山県立大学学生募集要項(特別入試)請求」又は「岡山県立大学学生募集要項(一般入試)請求」と朱書きし、返信用封筒〔[角型2号]〔縦332mm×横240mm〕に郵便番号、住所、氏名を明記し、350円分の切手(速達郵便を希望する場合は670円分の切手)を貼ること。〕を同封の上、裏表紙記載の宛先へ申し込んでください。
なお、返信用封筒のない場合又は切手不足の場合は送付できません。

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

岡山県立大学の入学者受入方針

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の具現化に向けて、地域社会や他の教育研究機関との自由かつ緊密な交流連携のもとに、人間・社会・自然の関係性を重視した実学を創造し、それを研究教授することによって知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く人材の育成を図り、もって地域の学術文化の進展及び産業の振興に寄与することを目的としています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 人間・社会・自然について幅広く学び、それらの関係性を探究したい学生
- 実学を身に付け、国内・国外の幅広い分野で社会に貢献したい学生
- 新技術・知識の創出に意欲を持ち、地域と世界へ向けて情報発信したい学生

保健福祉学部の入学者受入方針

保健福祉学部は、看護学科、栄養学科、保健福祉学科の3学科で構成されています。

本学部は、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉に関する基本的知識と技術を修得し、健康課題に対して科学的な思考や分析に基づいた課題解決能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材を養成することを目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 看護・栄養・福祉のそれぞれの分野に明確な目的意識と意欲、情熱を持っている学生
- 十分な基礎学力を備え、論理的思考能力を貴ぶ学生
- 人間理解に基づく保健・医療・福祉を学び、その成果を広く地域や世界に発信する意欲と創意にあふれる学生
- 豊かな感性を育み、様々な人とコミュニケーションできる能力、人を支援する心を身に付けたい学生

看護学科の入学者受入方針

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門知識と技術をいかして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々（家族・集団・地域）の生涯を通じた健康を支援し地域社会に貢献できる看護専門職の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 人間や健康、人々の暮らしに強い関心を持っている学生
- 他者を思いやる気持ちがあり、人と関わるのが好きで共に成長したいと考える学生
- 看護の多様な側面を学ぶ上で必要な基礎学力があり、探究心を持つ学生
- 何事にも前向きに取り組み、チャレンジ精神がおう盛な学生
- 看護のプロフェッショナルとして地域や国際社会に貢献したい学生

栄養学科の入学受入方針

栄養学科は、超高齢社会の到来や生活習慣病予防が重要視されている現代社会において、食と健康の相互関係を科学理論によって理解し、未知なる事象の解明に向けて研究する姿勢を身に付け、栄養学を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用し、広く地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 自然科学に関心を持ち、食物と人の健康との関係について科学的に理解・探究しようとする学生
- 栄養学分野の研究に取り組み、これを発展させて社会に還元しようとする意欲のある学生
- 様々な人とコミュニケーションができ、真しな態度と思いやりの気持ちを持って人と向き合える学生

本学科の専門教育を受けるためには、高等学校で「化学」や「生物」などの自然科学の基礎をしっかりと学習することが望まれます。また専門職としての管理栄養士には、豊かな人間性、コミュニケーション能力、倫理観などが必要になりますので、高校生活の中でこれらの素養を磨くことが大切です。

保健福祉学科の入学受入方針

保健福祉学科は、深い教養と豊かな人間性を兼ね備え、福祉的視点と方法に基づいて、子ども、障害者、高齢者等全ての人の自立と自己実現を支援し、健康と幸福の増進に寄与することのできる人材を育成することを目指しています。社会福祉学専攻では、特に社会における多様な福祉課題に対処する問題解決能力と共感力を持った人材を、また子ども学専攻では、教育的視点と方法を併せ持った、子どもの育ちと学びに関わる人材を育成することを目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 豊かな人間性を育み、支援を求める人々に対して、共感、共生しようとする学生
- 豊かな感性と科学的な思考力や分析力を養い、問題解決能力を高めようとする学生
- 援助対象者の成長や自立支援を促す専門的援助技術の修得に努める学生
- 21世紀の福祉社会や地域社会に貢献する意欲のある学生

情報工学部の入学受入方針

情報工学部は、情報通信工学科、情報システム工学科、人間情報工学科の3学科で構成されています。

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。本学部は、情報技術を活用して、人間及び自然との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 情報工学の新しい分野の発展に興味を抱いている学生
- 人間を取り巻く環境によく適合する情報社会を形づくりに貢献する意欲を持つ学生
- 新技術・知識の創出に関心を持ち、地域と世界に向けて情報発信したいと考える学生

急速に発展している高度情報化社会を支えるインターネット・コミュニケーション技術を用いて、現状の社会を改革し発展させていく夢を持った学生の挑戦を期待しています。

本学部の専門教育を受けるためには、高等学校で標準的な科目を履修し、特に以下の学力を身に付けていることが望まれます。

- 1 情報工学部入学受入試験《一般入試》個別学力検査「数学」で指定された範囲の基礎知識を有していること。
- 2 「物理」に関する基礎知識を有していること。

情報通信工学科の入学者受入方針

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術(ICT)を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、情報通信技術(ICT)の利用者視点を理解するとともに、グローバルな視野に立って社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- インターネットを中心とする情報通信技術を学びたい学生
- コンピュータやネットワークを構成する電子機器やその特性を学びたい学生
- 情報技術を利用した新しいソフトウェアの創造に興味のある学生
- 未来の情報通信技術に対する夢や希望を持っている学生

情報システム工学科の入学者受入方針

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結び付けるインタフェース工学などの学問を身に付け、領域横断型のエンジニアとしてのセンスを持って、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる人材の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 情報技術を積極的に活用したものづくりに興味のある学生
- 情報工学・機械工学・インタフェース工学を幅広く学びたい学生
- 人間の生活や社会活動を支援するため、インテリジェント型機器やシステムの設計能力を獲得したい学生
- 情報工学と他の様々な専門領域を結ぶ領域横断型の新技術を創出したい学生

人間情報工学科の入学者受入方針

人間情報工学科の教育研究のキーワードは「人間中心の設計思想」です。身体とその「うごき」を扱う人間系のサイエンス並びに情報・コミュニケーションと密接に関連する情報系のエンジニアリングを融合的に学び、使う人の様々な特性やニーズの視点に立った「もの」や「サービス」の設計能力を身に付けた人材の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 人体機能の巧みさを工学の視点から解明したい学生
- 人体機能と人間環境の調和を考慮した「もの」や「サービス」を開発したい学生
- 情報工学の視点で地域社会の発展や国際社会との連携協力に参加し、貢献したい学生

デザイン学部の入学者受入方針

デザイン学部は、デザイン工学科、造形デザイン学科の2学科で構成されています。

本学部は、情報化、グローバル化など刻々と変化する社会にあって、社会動向を的確に把握することにより課題を自ら発見し、それをデザインによって表現・解決することを通じて、豊かで新しい生活と文化の形成に必要なデザイン専門力とマネジメント能力を有する、地域と世界に貢献できる人材の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 様々な科学を学ぶことによって、人間・自然・社会の関係性を主体的に分析・考察し、課題に取り組む力を身に付け、デザインによる解決にいかしたい学生
- 自ら発見した課題をデザインによって表現し、解決するために、感性と知性の融合によるデザイン発想力・技術力・表現力を身に付けたい学生
- 社会における課題を洞察し、新たな生活・文化の価値を創造するため、デザインによる解決策を考察し企画提案する力を身に付けたい学生

デザイン工学科の入学者受入方針

デザイン工学科は、人間・社会・自然の関係性に十分配慮し、持続発展が可能な社会実現のため、デザインの専門力とマネジメント能力により、地域社会や産業界に貢献できるデザイナーや建築家の育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 学習による豊かな創造力と柔軟な思考力・構想力の鍛錬を通じて、主体的に価値観を構築し、これに基づいたシステムや空間、モノのデザイン提案により、社会と産業に貢献したい学生
- 日本と諸外国の文化や芸術の理解を通じて育んだ感性と、人間・社会・自然の関係性の調和を図る科学技術とを融合したデザインの創造に取り組みたい学生
- 社会ニーズを洞察し、課題を発見しその解決過程をマネジメントして、構想・制作・企画提案に取り組み、より豊かで新しい生活と文化の価値を創造したい学生

本学科の専門教育を受けるためには、高等学校で「美術・工芸」に関心を持ち、「外国語」、「国語」、「理科」、「数学」等の基礎学力を有していることが望まれます。

造形デザイン学科の入学者受入方針

造形デザイン学科は、デザインによって地域特性を考慮した問題及びグローバルな視点で問題解決に取り組む、人間・社会・自然の関係性に十分配慮し地域社会や国際社会に貢献できるデザイナー及び造形のスペシャリストの育成を目指しています。

したがって、求める学生像は次のとおりです。

- 豊かな人間性と美を見極める感性、柔軟で論理的な思考力及び社会に企画提案できるデザインマネジメント力を身に付けたいと考える学生
- 新たな時代の社会的ニーズを創造・開拓し、トータルなビジュアルコミュニケーションデザインや、アートとクラフトを融合した生活と文化の価値を創造したいと考える学生
- 企画提案力に裏打ちされたコミュニケーション力とデザインスキル、デザイン力がいかせる分野で地域社会に貢献したいと考える学生

本学科の専門教育を受けるためには、高等学校で「美術・工芸」に関心を持ち、「国語」、「外国語」等における基礎学力を身に付け、自然科学や社会科学、歴史などの幅広い学問に取り組める準備をしておくことが望まれます。

II 募集人員

(人)

学 部	学 科 ・ 専 攻	入 学 定 員	左 の う ち						
			一 般 入 試			推 薦 入 試	帰 国 生 入 試	私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	
			前 期 日 程	中 期 日 程	後 期 日 程				
保 健 福 祉 学 部	看 護 学 科	40	20	—	8	12	若 干 人	若 干 人	
	栄 養 学 科	40	25	—	3	12	若 干 人	若 干 人	
	保 健 福 祉 学 科	社 会 福 祉 学 専 攻	40	24	—	4	12	若 干 人	若 干 人
		子 ども 学 専 攻	20	10	—	4	6	若 干 人	若 干 人
情 報 工 学 部	情 報 通 信 工 学 科	50	14	23	—	13	若 干 人	若 干 人	
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科	50	14	23	—	13	若 干 人	若 干 人	
	人 間 情 報 工 学 科	40	12	15	—	13	若 干 人	若 干 人	
デ ザ イ ン 学 部	デ ザ イ ン 工 学 科	40	30	—	—	10	若 干 人	若 干 人	
	造 形 デ ザ イ ン 学 科	50	38	—	—	12	若 干 人	若 干 人	

(注) 1 この要項において「中期日程」は「公立大学中期日程」を指します。

2 帰国生入試及び私費外国人留学生入試の「若干人」は、一般入試の募集人員に含まれます。

III 一般入試

(1) 出願資格

次のア、イ、ウのいずれかに該当し、かつ、平成29年度大学入試センター試験で本学の入学志願者に解答させる教科・科目の全てを受験した者とします。

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは岡山県立大学事務局教学課へお問い合わせください。

平成29年度大学入試センター試験の教科・科目の利用方法

<保健福祉学部看護学科>

日 程	教 科	科 目		
前 期 日 程	国 語	「国語」	必須	
	地 理 歴 史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1 (注1)	
	公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
後 期 日 程	数 学	「数学I・数学A」	必須	
	理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1:①	①又は② (注2)
		「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2:②	
外 国 語	「英語(リスニングの成績も利用する)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1		

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) ①(2科目を解答した場合は第1解答科目)又は②のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

＜保健福祉学部栄養学科＞

日 程	教 科	科 目			
前期日程 後期日程	国 語	「国語」		必須	
	地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1 (注1)	
	公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」		必須	
		「数学Ⅱ・数学B」		必須	
	理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」		から2: ①	①又は②
		「物理」, 「化学」, 「生物」		から1	
「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」		から2			
外 国 語	「英語（リスニングの成績も利用する）」		必須		

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 同一名称を付した科目(例、「化学」と「化学基礎」)の選択を認めます。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

＜保健福祉学部保健福祉学科（社会福祉学専攻・子ども学専攻）＞

日 程	教 科	科 目		
前期日程 後期日程	国 語	「国語」		必須
	地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2） (注)
	公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	
	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2	
	外 国 語	「英語（リスニングの成績も利用する）」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」		から1

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」)において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

＜情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科＞

日 程	教 科	科 目		
前期日程	国 語	「国語」		必須
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」		必須
		「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		から1
中期日程	理 科	「物理」		必須
		「化学」, 「生物」, 「地学」		から1
外 国 語	「英語（リスニングの成績も利用する）」		必須	

※ 学部共通の注意事項(P.7)も参照してください。

＜デザイン学部デザイン工学科＞

日程	教科	科目			
前期日程	国語	「国語（近代以降の文章の成績のみを利用する）」			
	地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1	から2又は3（理科の「基礎を付した科目」から2及び理科以外の教科の科目から1） （注）	
	公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
	数学	「数学Ⅰ・数学A」			① 又は ②
		「数学Ⅱ・数学B」			
	理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1:①		① 又は ②
「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2:②			
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」			必須	

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項も参照してください。

＜デザイン学部造形デザイン学科＞

日程	教科	科目			
前期日程	国語	「国語」			必須
	地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1	（注）	
	公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
	数学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」			
	理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」			
	外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」			必須

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項も参照してください。

（注：学部共通）

- 「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 「英語（リスニングの成績も利用する）」については、「筆記」及び「リスニング」の両方を解答している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「筆記」（200点満点）の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

(2) 選抜日程等

ア 出願期間 平成29年1月23日(月)～平成29年2月1日(水)

イ 個別学力検査等の試験日、教科・科目等及び試験時間

学部	学科・専攻	日程	試験日	個別学力検査等の教科・科目等	試験時間
保健福祉学部	看護学科	前期日程	平成29年 2月25日(土)	小論文、面接	小論文 120分
	保健福祉学科 社会福祉学専攻 子ども学専攻	後期日程	平成29年 3月12日(日)		
	栄養学科	前期日程	平成29年 2月25日(土)	理科(化学基礎・化学、生物基礎・生物から1)(注1)	理科 120分
		後期日程	個別学力検査等は課しません。		
情報工学部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	前期日程	平成29年 2月25日(土)	数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B(数列、ベクトル))	数学 120分
		中期日程	平成29年 3月8日(水)		
デザイン学部	デザイン工学科 造形デザイン学科	前期日程	平成29年 2月25日(土)	実技(鉛筆デッサン)	実技 180分

(注1) 保健福祉学部栄養学科の理科(前期日程)においては、解答科目は試験会場で選択できます。選択科目間で平均点に著しい差が生じた場合は、得点調整を行うことがあります。

(3) 選抜方法・配点

大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書の内容を総合して行います。

なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用、調査書の内容や大学入試センター試験の成績による2段階選抜は行いません。

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点は、資料「平成29年度岡山県立大学入学者選抜(一般入試)の実施教科・科目等」のとおりです。

(保健福祉学部P18～20 情報工学部P21 デザイン学部P22)

・個別学力検査等の評価基準

(ア) 保健福祉学部

<看護学科、保健福祉学科(社会福祉学専攻・子ども学専攻)>

小論文： 自然、社会、文化に関する問題について論述させ、理解力、思考力、文章表現力等を総合評価します。

面接： 看護学科ではグループ討議、保健福祉学科では個人面接を行い、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

<栄養学科>

理科： 化学・生物の基礎知識に関する問題を出題して解答させ、基礎学力の確認とその理解度、科学的思考力並びに応用力等を総合評価します。

(イ) 情報工学部

数学： 記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

(ウ) デザイン学部

実技(鉛筆デッサン)： B3のケントボードに描かせ、観察力、構成力、描写力を総合評価します。

(4) 合格者発表

ア 発表日

学 部	日 程	発 表 日
保健福祉学部	前期日程	平成29年3月 6日(月)
	後期日程	平成29年3月21日(火)
情報工学部	前期日程	平成29年3月 6日(月)
	中期日程	平成29年3月21日(火)
デザイン学部	前期日程	平成29年3月 6日(月)

イ 欠員補充の方法

各学部・学科・専攻の入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格者の発表を行います。

IV 特別入試

1 推薦入試

全学部・学科・専攻で実施します。

(1) 出願要件

次のア又はイに該当し、かつ、ウ、エのいずれにも該当する者となります。

ア 岡山県内の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者

イ 岡山県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者で、本人又は保護者が平成28年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有しているもの

ウ 人物が優れ、志望する学部・学科・専攻に対し適性を有すると評価され、高等学校長が責任を持って推薦できる者で、合格した場合必ず入学することを確約できるもの

エ 各学部（又は学科・専攻）が定める次の要件に該当する者

学 部	要 件
保健福祉学部	(看護学科) 1 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2 推薦できる人数は、1高等学校につき2人までとします。 (栄養学科) 1 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (保健福祉学科) 1 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 2 推薦できる人数は、1高等学校につき、社会福祉学専攻で2人まで、子ども学専攻で1人までとします。
情報工学部	1 次のいずれかに該当する者 (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 調査書の全体の評定平均値が3.6以上で、かつ、物理又は理数物理、数学Ⅲ又は理数数学Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅱ及び英語表現Ⅰを履修している者 2 推薦できる人数は、1高等学校につき本学部1学科当たり3人、計9人までとします。
デザイン学部	次のいずれかに該当する者 (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 調査書の全体の評定平均値が3.6以上で、かつ、デザインの分野において特に秀でていると認められる者

(注) 「高等学校を平成29年3月卒業見込みの者」には、「中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者」、「高等専門学校第3学年を平成29年3月修了見込みの者」及び「特別支援学校の高等部を平成29年3月卒業見込みの者」を含みます。

(2) 選抜日程

ア 出願期間 平成28年11月 1日(火)～平成28年11月 7日(月)

※ 出願書類等は、志願者ごとに所定の出願用封筒に入れた上で、高等学校長等がとりまとめ、高等学校が郵送により提出するものとします。

イ 試験日 平成28年11月19日(土)

(3) 選抜方法

学 部	選 抜 方 法
保健福祉学部	書類（調査書及び推薦書）の審査、小論文（時間120分）及び面接により実施します。 なお、栄養学科の面接においては、一般教科（理科）に関する試問も行います。問題は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍に行います。
情報工学部	書類（調査書及び推薦書）の審査及び面接により実施します。 なお、面接においては、一般教科（数学、英語及び理科）に関する試問も行います。理科の問題は、「物理基礎」及び「物理」から出題します。
デザイン学部	書類（調査書及び推薦書）の審査、実技（時間180分）及び面接により実施します。 なお、実技検査は、鉛筆デッサンとします。

(注) 1 平成29年度大学入試センター試験は課しません。

2 可否の判定に当たって、各学科・専攻の推薦入試募集人員による合格者の中に、「専門学科のうち職業系学科」又は「総合学科」を卒業する見込みの者がいない場合は、当該者のうち基準点以上の成績最上位者1人を別枠で合格者とします。

・実技検査等の評価基準

ア 保健福祉学部

小論文： 自然、社会、文化に関する問題について論述させ、理解力、思考力、文章表現力等を総合評価します。

面 接： 個人面接を行い、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。また、栄養学科では一般教科の基礎学力と併せて総合評価します。

イ 情報工学部

面 接： 個人面接を行い、一般教科の基礎学力、思考能力、適性、意欲等を総合評価します。

ウ デザイン学部

実 技（鉛筆デッサン）： B3のケントボードに描かせ、観察力、構成力、描写力を総合評価します。

面 接： 個人面接を行い、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

(4) 実技検査等の配点

学 部 ・ 学 科 ・ 専 攻		実技検査等	配 点	配点合計
保健福祉学部	看護学科 保健福祉学科社会福祉学専攻 保健福祉学科子ども学専攻	小論文	200	300
		面接及び書類の審査	100	
	栄養学科	小論文	100	200
		面接及び書類の審査	100	
情報工学部		面接及び書類の審査	200	200
デザイン学部		実技（鉛筆デッサン）	100	200
		面接及び書類の審査	100	

(5) 合格者発表日

平成28年12月2日（金）

2 帰国生入試

全学部・学科・専攻で実施します。

(1) 出願要件

日本国籍を有する者又は日本国内の永住許可を得ている者のうち、外国の学校教育を受けた者で、次のア、イ、ウ、エのいずれかに該当するもの

ア 外国において、学校教育における12年の課程を平成27年4月1日から平成29年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者(注)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

イ 外国において、スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成27年又は平成28年に得た者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成27年又は平成28年に得た者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により通算教育年数が12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含みます。

(2) 選抜日程

ア 出願期間 平成28年11月 1日(火)～平成28年11月 7日(月)

イ 試験日 平成28年11月19日(土)

(3) 選抜方法

学 部	選 抜 方 法
保健福祉学部	書類審査、小論文(時間120分)及び面接により実施します。 なお、面接においては、一般教科に関する試問も行います。
情報工学部	書類審査及び面接により実施します。 なお、面接においては、一般教科に関する試問も行います。
デザイン学部	書類審査、実技(時間180分)及び面接により実施します。 なお、実技検査は、鉛筆デッサンとします。

(注) 平成29年度大学入試センター試験は課しません。

・実技検査等の評価基準

ア 保健福祉学部

小論文： 自然、社会、文化に関する問題について日本語で論述させ、日本語の理解力と文章表現力、思考力等を総合評価します。

面接： 日本語による個人面接を行い、適性、意欲、一般教科の基礎学力、コミュニケーション能力等を総合評価します。ただし、面接の評価が著しく低い場合は、総得点にかかわらず不合格とすることがあります。

イ 情報工学部

面接： 日本語による個人面接を行い、一般教科の基礎学力、思考能力、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

ウ デザイン学部

実技(鉛筆デッサン)： B3のケントボードに描かせ、観察力、構成力、描写力を総合評価します。

面接： 日本語による個人面接を行い、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

(4) 実技検査等の配点

学 部	実 技 検 査 等	配 点	配点合計
保健福祉学部	小論文	200	300
	面接及び書類の審査	100	
情報工学部	面接及び書類の審査	200	200
デザイン学部	実技(鉛筆デッサン)	100	200
	面接及び書類の審査	100	

(5) 合格者発表日

平成28年12月2日(金)

3 私費外国人留学生入試

全学部・学科・専攻で実施します。

(1) 出願要件

次のア、イ、ウのいずれにも該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成28年度日本留学試験及びTOEFL(iBT)を受験した者

ア 日本国籍を有しない者

イ 次のいずれかに該当する者

(ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(イ) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

(ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

(エ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

ウ 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学手続後に「留学」の在留資格を取得できる者

(2) 選抜日程

学部	出願期間	試験日
保健福祉学部	平成29年1月10日(火)～平成29年1月12日(木)	平成29年3月12日(日)
情報工学部		平成29年2月25日(土)
デザイン学部		

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び実技検査等により実施します。

学部・学科	書類審査				実技検査等
	日本留学試験			TOEFL(iBT)	
	科目	出題の言語の指定	実施時期の指定		
保健福祉学部	日本語 理科(2科目選択) 数学(コース1)	日本語・英語 どちらでも可	6月・11月 どちらでも可	課す	小論文 (時間120分) 面接
情報工学部	日本語 理科(2科目選択 ・うち物理必須) 数学(コース2)	日本語のみ	6月・11月 どちらでも可	課す	面接
デザイン学部		日本語・英語 どちらでも可	11月のみ	課す	実技 (鉛筆デッサン) (時間180分) 面接
デザイン工学科	日本語 理科(2科目選択) 数学(コース1)				
造形デザイン学科	日本語 総合科目 数学(コース1)				

(注) 1 平成29年度大学入試センター試験は課しません。

2 保健福祉学部及び情報工学部が実施する面接においては、一般教科に関する試問も行います。

・実技検査等の評価基準

ア 保健福祉学部

小論文： 自然、社会、文化に関する問題について日本語で論述させ、日本語の理解力と文章表現力、思考力等を総合評価します。

面接： 日本語による個人面接を行い、適性、意欲、一般教科の基礎学力、コミュニケーション能力等を総合評価します。ただし、面接の評価が著しく低い場合は、総得点にかかわらず不合格とすることがあります。

イ 情報工学部

面接： 日本語による個人面接を行い、一般教科の基礎学力、思考能力、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

ウ デザイン学部

実技（鉛筆デッサン）： B3のケントボードに描かせ、観察力、構成力、描写力を総合評価します。

面接： 日本語による個人面接を行い、適性、意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

(4) 実技検査等の配点

学部・学科		実技検査等	配点	配点合計
保健福祉学部		日本留学試験	400	800
		TOEFL (iBT)	200	
		小論文	100	
		面接	100	
情報工学部		日本留学試験	400	1,000
		TOEFL (iBT)	200	
		面接	400	
デザイン学部	デザイン工学科	日本留学試験	400	1,000
		TOEFL (iBT)	200	
	造形デザイン学科	実技（鉛筆デッサン）	200	
		面接	200	
デザイン学部	造形デザイン学科	日本留学試験	300	1,000
		TOEFL (iBT)	200	
		実技（鉛筆デッサン）	300	
		面接	200	

(注) 日本留学試験に科目ごとの配点はありませぬ。

(5) 合格者発表日

学部	発表日
保健福祉学部	平成29年3月21日(火)
情報工学部 デザイン学部	平成29年3月6日(月)

V 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の期日までに岡山県立大学事務局教学課へ連絡し、相談してください。

- (1) 推薦入試及び帰国生入試 : 平成28年10月14日(金)
- (2) 私費外国人留学生入試 : 平成28年12月16日(金)
- (3) 一般入試 : 平成28年12月22日(木)

なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願しないでください。

資 料

平成29年度岡山県立大学入学者選抜（一般入試）の実施教科・科目等

<保健福祉学部>

看護学科

日程	試験区分	教科	科目	配点	備考		
前期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	100		
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1 (注1)	100		
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
		数学	「数学I・数学A」	必須	100		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1:①	① 又は ② (注2)	100	
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2:②			
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1	200	英語 { 筆記: 150 リスニング: 50 その他 筆記: 200	
	計					600	
	個別学力検 査等	小論文				100	
		面接				100	
計				200			
配点合計					800		
後期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	200		
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1 (注1)	100		
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
		数学	「数学I・数学A」	必須	50		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1:①	① 又は ② (注2)	50	
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2:②			
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1	200	英語 { 筆記: 150 リスニング: 50 その他 筆記: 200	
	計					600	
	個別学力検 査等	小論文				100	
		面接				100	
計				200			
配点合計					800		

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) ①(2科目を解答した場合は第1解答科目)又は②のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

栄養学科

日程	試験区分	教科	科目			配点	備考		
前期 日程	センター試験	国語	「国語」		必須	200			
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1 (注1)	100			
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」						
		数学	「数学Ⅰ・数学A」		必須		100		
			「数学Ⅱ・数学B」		必須		100		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」		から2:①	① 又は ②	200	100/科目	
			「物理」, 「化学」, 「生物」		から1			から3:② (注2)	100
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」		から2				100
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		200	筆記: 150 リスニング: 50	
	計						900		
個別学力検査等	理科	「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」		から1	200				
配点合計						1,100			
後期 日程	センター試験	国語	「国語」		必須	100			
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1 (注1)	50			
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」						
		数学	「数学Ⅰ・数学A」		必須		100		
			「数学Ⅱ・数学B」		必須		100		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」		から2:①	① 又は ②	200	100/科目	
			「物理」, 「化学」, 「生物」		から1			から3:② (注2)	100
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」		から2				100
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		200	筆記: 150 リスニング: 50	
	計						750		
個別学力検査等						0			
配点合計						750			

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) センター試験における同一名称を付した科目(例、「化学」と「化学基礎」)の選択を認めます。

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

保健福祉学科（社会福祉学専攻・子ども学専攻）

日程	試験区分	教科	科目	配点	備考		
前期 日程 後期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	200		
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1又は2(理科の「基礎を付した科目」から2) (注)	200	
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
		数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」				
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」				
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」		から1	200	英語 { 筆記: 160 リスニング: 40 その他 筆記: 200
	計				600		
	個別学力検査等	小論文			100		
		面接			100		
計			200				
配点合計				800			

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

<情報工学部>

情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科

日程	試験区分	教科	科目		配点	備考
前期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	100	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	50	
			「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1	50	
		理科	「物理」	必須	100	
			「化学」,「生物」,「地学」	から1	100	
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	筆記: 160 リスニング: 40
	計					600
個別学力検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」, 「数学B(数列・ベクトル)」		300		
配点合計					900	
中期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	100	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	50	
			「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1	50	
		理科	「物理」	必須	50	
			「化学」,「生物」,「地学」	から1	50	
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	100	筆記: 80 リスニング: 20
	計					400
個別学力検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」, 「数学B(数列・ベクトル)」		300		
配点合計					700	

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

<デザイン学部>

デザイン工学科

日程	試験区分	教科	科目	配点	備考			
前期 日程	センター試験	国語	「国語(近代以降の文章の成績のみを利用する)」		200	100/科目・基礎付き2科目		
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1			から2又は3(理科の「基礎を付した科目」から2及び理科以外の教科の科目から1) (注)	
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」					
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」					
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1:①				① 又は ②
			「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2:②				
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」					必須
	計				400			
個別学力検査等	実技(鉛筆デッサン)			200				
配点合計				600				

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

造形デザイン学科

日程	試験区分	教科	科目	配点	備考			
前期 日程	センター試験	国語	「国語」	必須	200			
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	から1 (注)	100			
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」					
		数学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」					
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」					
		外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」				必須	200
	計						500	
個別学力検査等	実技(鉛筆デッサン)			500				
配点合計				1,000				

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(P.23)も参照してください。

(注:学部共通)

- 1 「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 2 「英語(リスニングの成績も利用する)」については、「筆記」及び「リスニング」の両方を解答している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「筆記」(200点満点)の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 3 理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

平成28年度岡山県立大学入学選抜試験の実施状況

学部名	学科・専攻名	推薦入試				一般入試 (前期日程)				一般入試 (中・後期日程)				合計			
		募集人員	受験者数 (志願者数)	合格者数	実質倍率 (志願倍率)	募集人員	受験者数 (志願者数)	合格者数	実質倍率 (志願倍率)	募集人員	受験者数 (志願者数)	合格者数	実質倍率 (志願倍率)	募集人員	受験者数 (志願者数)	合格者数	実質倍率 (志願倍率)
保健福祉	看護	12	41 (41)	12	3.4 (3.4)	20	66 (68)	24	2.8 (3.4)	8	51 (132)	9	5.7 (16.5)	40	158 (241)	45	3.5 (6.0)
		12	39 (39)	12	3.3 (3.3)	25	92 (104)	31	3.0 (4.2)	3	48 (48)	6	8.0 (16.0)	40	179 (191)	49	3.7 (4.8)
	保健福祉・ 社会福祉学	12	32 (32)	13	2.5 (2.7)	20	28 (33)	23	1.2 (1.7)	8	13 (45)	9	1.4 (5.6)	40	73 (110)	45	1.6 (2.8)
		6	21 (21)	7	3.0 (3.5)	10	24 (25)	11	2.2 (2.5)	4	13 (34)	4	3.3 (8.5)	20	58 (80)	22	2.6 (4.0)
情報工	情報通信工	13	29 (29)	13	2.2 (2.2)	14	46 (51)	14	3.3 (3.6)	23	262 (527)	93	2.8 (22.9)	50	337 (607)	120	2.8 (12.1)
	情報システム工	13	19 (19)	13	1.5 (1.5)	14	45 (51)	17	2.6 (3.6)	23	352 (724)	112	3.1 (31.5)	50	416 (794)	142	2.9 (15.9)
	人間情報工	13	18 (18)	14	1.3 (1.4)	12	37 (41)	16	2.3 (3.4)	15	117 (250)	58	2.0 (16.7)	40	172 (309)	88	2.0 (7.7)
デザイン	デザイン工	10	13 (13)	10	1.3 (1.3)	30	131 (138)	35	3.7 (4.6)	—	—	—	—	40	144 (151)	45	3.2 (3.8)
	造形デザイン	12	36 (36)	12	3.0 (3.0)	38	92 (97)	42	2.2 (2.6)	—	—	—	—	50	128 (133)	54	2.4 (2.7)
合計		103	248 (248)	106	2.3 (2.4)	183	561 (608)	213	2.6 (3.3)	84	856 (1,760)	291	2.9 (21.0)	370	1,665 (2,616)	610	2.7 (7.1)

1 推薦入試は岡山県内高等学校等平成28年3月卒業見込者及び、本人又は保護者が岡山県内在住者の岡山県外高等学校等平成28年3月卒業見込者を対象として行った。(合格者は全て入学)

2 実質倍率＝受験者数／合格者数

3 志願倍率＝志願者数／募集人員

4 合格者数には、追加合格者を含む。

5 後期日程の栄養学科の受験者数は、出願者数を表示している。

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課

〒719-1197 岡山県総社市窪木 1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

ホームページ <http://www.oka-pu.ac.jp/>

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp